

2025年11月28日
株式会社三菱UFJ銀行

株式会社三越伊勢丹ホールディングスと「人的資本経営評価型ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 はんざわ じゅんいち 半沢 淳一）は、お客さまの人的資本経営の取り組みを評価する融資商品である「人的資本経営評価型ローン（以下 本商品）」の取り扱いを行っております。

本商品では、人的資本経営評価を取得し、一定基準以上のスコアを取得された企業については、「人的資本経営評価型ローン」としての実行及び対外的な発信が可能となります。なお、人的資本経営評価においては、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下 MUFJ）の一員である三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（以下 MURC）をサービス提供者、サステナブルファイナンスの評価を行う株式会社日本格付研究所（以下 JCR）をサポート企業としております。MURCが人的資本経営に関する独自のチェック項目に基づき、お客さまの人的資本経営に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCRとの連携で客観的な評価を実施し、課題などもお客さまにフィードバックします。

株式会社三越伊勢丹ホールディングス（取締役代表執行役社長 CEO ほそや としゆき 細谷 敏幸、以下 三越伊勢丹）は、2025年11月26日に本商品にてタームローン契約を締結いたしました。

また、MUFJの人的資本経営評価において、「業界をリードする人的資本経営」と最高評価であるSランクを取得しました。

三越伊勢丹グループのサステナビリティ経営は、事業活動を通じて社会価値と経済価値を共に高めることを目指しています。グループが掲げる4つの重点取り組み（マテリアリティ）の一つを「ひとの力の最大化」とし、人財戦略を中期経営計画の達成に向けた基盤戦略と位置づけています。

三越伊勢丹グループは、企業理念のミッション「こころ動かす、ひとの力で。」にあるように、一人ひとりの「ひとの力の最大化」の実現がグループの価値向上につながるという考え方のもと、継続的な人的資本投資を実施しています。

【高く評価を受けた人的資本経営に関する取り組み】

✓ 経営戦略 ～ビジョンと方針～

三越伊勢丹グループならではの事業価値を生み出す専門人財としての「縦の人財確立」と、異なる事業価値を組み合わせ、イノベーションを生み出す編集人財としての「横の人財創造」の実現を人財戦略として掲げており、個客業への変革という経営方針と整合している。

✓ 経営戦略 ～サクセッションプラン～

戦略の実現と、企業価値向上に資するリーダーシップを発揮できる人財の選任に向け、候補者の選定基準の設定や人財プールの管理、異動配置・育成施策等に取り組んでいる。サクセッションプランは社外取締役が過半数を占める指名委員会において社外取締役の主導で審議され、定期的なレビューを通じて監督・モニタリングされている。

✓ **育成 ～リーダーシップの育成～**

役員向けの研修プログラムのほか、役員候補者向けとして現任部長職・新任部長職など、レイヤーごとに必要とされるリーダーシップを育成するための研修やトレーニングを実施している。

✓ **ダイバーシティ ～ダイバーシティを推進するための取り組み～**

女性管理職比率の更なる向上に向け KPI 目標を設定し、取締役会において定期的にモニタリングを行うことで、取り組みの実効性向上を図っている。

✓ **従業員エンゲージメント ～エンゲージメント調査の実施と公表～**

年に一度、従業員エンゲージメント調査を実施し、重点取り組み（マテリアリティ）に即した数値結果を公表している。

✓ **従業員エンゲージメント ～エンゲージメント向上施策～**

調査から見えてきた課題としての従業員の自律的なキャリア形成を支援するため、上司力の向上を取り組み強化施策の一つとして設定し、人財マネジメントガイドブックの発行や部下を持つ管理職研修の実施など、具体的な施策化に活用している。

MUFG は、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの人的資本経営の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上